



## 第20回 日・韓・中ジュニア交流競技会報告

### 光州大会

2014年(平成26年)に岩手県で開催される「日・韓・中ジュニア交流競技会」の視察のため、大韓民国の光州広域市へ行ってまいりました。競技会場周辺は、のぼり旗や看板、ゲートなどを設置し、競技会を盛り上げていました。選手団の宿舎は、湖南大学の学生寮を使用し、整った環境で過ごすことができました。

この競技会は1993年(平成5年)に第1回を福岡県で開催し、今回で第20回を数える歴史のある競技会です。各国より11競技1000人ほどの選手団及び本部役員が参加しており、本県からも2名、陸上競技とハンドボール競技に参加いたしました。交流競技会ではありますが国と国の威信をかけた立派な国際大会です。しかし、ひとたび競技会場を離れば、国境を越えた交流も選手間で行われており、成長著しいジュニア世代で国際経験を積める良い機会だと感じました。この大きなイベントを、2016年(平成28年)に「希望郷いわて国体」を控えた岩手県で開催できることは、選手強化において、また競技運営のプレ大会として大きな意味があると感じています。現在本県は、東日本大震災津波からの復興の真っ最中であり、またこれまで人口の多い大都市で開催されてきたこの大会を岩手県で開催するためにまだまだ課題はありますが、これら的一大イベントを成功させ、来県いただいた各国選手団に復興の現状を知っていただくとともに、これまでのご支援に対する感謝の意を伝えられる岩手型の大会となればと思います。

(相馬高志・岩手県教育委員会事務局 スポーツ健康課国体選手強化担当)



不来方高校  
中花 仁



盛岡女子高校  
土橋 智花